



### I-OWA マンスリー・セミナー講演より アメリカ西海岸訪問レポート

講演： 岡本 和久  
レポーター： 赤堀 薫里

ロサンゼルスで開催された CFA 協会主催の「Wealth Management Conference」に出席してきました。最初に、シャーロット・ベイヤーさんの「ウェルス・マネジメントを紐解く、知るべきことを明らかにして人生を楽しむ」という講演がありました。

この中で面白かったことは、「ロボアドバイザー」に依存した運用会社に聞くべきこととして「①ソフトウェアを誰が開発したのですか。自社か、外部ベンダーか、②あなたが最も信頼できる投資の手法はどんなものですか、③私のデータとプライバシーを安全に守られていますか、④ソフトウェアの予測能力とユーザインターフェースをテストできますか、⑤私のパーソナリティと好みをどの様に把握するのですか、⑥私が持っている前提をどのように把握するのですか、⑦人的コストが減った場合、私はその恩恵をうけことができるのでしょうか」という7つをあげていたことです。

個人的なニーズをロボットがどのように取り込んで、自分にあった運用をしてくれるのか聞いているわけです。ロボアドバイザーの利用が増えるにつれ、このようなチェックポイントは大切になるでしょう。

また、AI やロボとは別な問題として、高齢化をあげていました。従来の単なるリスクとリターンのトレードオフというだけの最適化ではなくて、そこに投資家の性格や価値観、家族内の力学、税効果を全て含めて4つのレベルでの総合的な判断が必要になるという指摘でした。単に資産を運用するという以上に個人にとって、特に高齢者にとって、資産を如何に保全し、生かしてしていくのか、それが最終的な目的だということを彼らはアピールしようとしていると感じました。



この後、講演では、投資家のための10の原則中の原則についての解説。海外で急速に普及しているウーバに初乗りした体験談などをお話いただきました。



## 長期投資仲間通信「インベストラ이프」

また、映画監督や俳優として有名なデビッド・リンチさんが創設した「デビッド・リンチ基金」を訪問し、同基金が支援している意識に基づいた教育法と呼ばれる TM(超越瞑想)の学校への導入の話を聞きました。授業に瞑想を取り入れることで、精神的なストレス軽減し、学習能力も向上する効果があるとのことでした。実際にこのプログラムを実践している学校を訪れ、学生さんと一緒に「クワイエットタイム」に瞑想してきたことやその効果をお話いただきました。